



Pick Up News

新年度を迎えました。今年も建築学部通信の毎月発刊を目指して頑張ります。学生の皆さんにもご協力をお願いすることもあります。どうぞよろしくお願ひします。さて、今年も多くの新入生を迎えることができました。161名の建築学部生(3期)、そして大学院に進学した13名(M12, D1)の皆さんに心からお祝ひ申し上げます。新しい教員も2名迎えております。建築学部は、皆さんの学びを全力でサポートし、応援します。とは言え、学ぶのは皆さん一人ひとり。大学の学びは受け身では得られません。何ごとにも、主体的に、積極的に取り組んでくれることを期待します。1年生の皆さん全員とは入学後にメールでやりとりをしました。こちらが伝えたこと(建築学部で学ぶことの意義)に対して、それぞれが何かを感じ、今の状況に向き合ってくれた様子を感じました。「歴史ある東北工業大学に入学できてよかったと思いました。入学前から、高校の先生から東北工大の建築はいいとこだ、と言われてきたので実感できました・・」。次の歴史を作るのは皆さんです!

祝建築学科入学 161名, 建築学専攻(M・D)進学 13名



4月より新しい教員が2名着任されました。両名とも、ご自身で設計事務所を主宰され、建築設計の実務で活躍されている先生です。建築学部への幅をさらに拡げてくれることを期待していますし、どこにも負けない建築学部になったと自負しています。

【研究テーマ】
建築設計, インテリアデザイン

身体から拡張する建築・地域・社会の関係性をデザインする!



錦織 真也 准教授

【研究テーマ】
建築設計, 建築計画, 都市・地域計画

計画, 意匠, 法制度など多角的な視点から建築空間を思考・実践する



齋藤 隆太郎 講師

Pick Up Lab. 菊田研究室

は本年3月に第1期の卒業生7名、大学院生1名が卒業・修了しました。断熱性を有するコンクリートや人工筋肉を埋設した繊維補強コンクリートなど新材料を活用した新しいセメント系材料の研究を学生と共に楽しくできたと思います。コンクリートの研究というと、体力的に辛そう、汚れる、地味など・・・マイナスなイメージを持つ方も多いと思いますが、料理のレシピのように、コンクリートの構成材料をほんの少し変化させるだけでも、劇的に性能が変化することもある非常に面白い研究です。全く新しい可能性を秘めた新材料の研究を学生の皆さんと共に進めていきたいと思ひます。



研究室の実験風景



4年 高橋 宙夢 くん
東北高校 出身

Pick Up Student

私は大学で初めて建築の講義を受けた時に初めて聞く用語や内容が多く分からないことばかりでとても不安になりました。そこで、講義内で分からなかった部分や疑問に感じた部分があれば先生に質問し、帰宅してから質問した部分を復習するように心掛けました。その結果、着実に成績順位が上がっていき、2年生、3年生では成績上位者として表彰して頂くことができました。私は現在、公務員の建築職に就職することを目標に日々試験勉強に励んでいます。就職活動が順調に進み、来年から社会人として働く際には分からないことばかりの新しい環境でも大学での諦めずに努力し着実に成長したことを自信として頑張りたいと思ひます。



2年 齋藤 綾夏 さん
富谷高校 出身

Pick Up Student

大学に入学して友達もいない中授業やレポート課題がオンラインだったため、自分でスケジュールを管理して計画的に取り組むことが大変でした。また、通常通りの大学生活を送ることは少し困難でしたが勇気を出してサークル活動など興味のあることに挑戦してみることで、友達の輪が広がりました。授業の中で一番成長することができたのは建築設計です。設計について右も左もわからない状態でしたが、先生や友達とのディスカッションで自分一人では出てこないアイデアが多く生まれました。大変なことも沢山ありましたがその分設計する力がつきました。まだ将来について具体的に決まっていますが多くのことを学び、経験してやりたいことを見つけたいと思ひます。